

ATTUNITY STREAM FOR ADABAS A CHANGE DATA CAPTURE SOLUTION

チェンジデータキャプチャによる、ADABASデータのリアルタイム且つ効率的なデータ統合

Attunity Stream for Adabasは Adabasデータソースの変更データだけを抽出及び処理する製品です。

インパクトの少ないチェンジデータキャプチャテクノロジーにより、企業はオペレーショナルデータを効率的且つリアルタイムに動かすことができるのです。

あらゆる組織は、データの完全性を維持し、システムを同期させ、データウェアハウス (DW) やオペレーショナルデータストア (ODS) のような統合データストアを構築するためには、データを移動させる必要があります。

そのためには、レコードがあるシステムから選び出され、他のシステムへ移動する必要があります。いくつかのケースでは、データは処理され、変換され、整備され、統合される必要があります。

ビジネスユーザによるリアルタイム情報の要求が高まる中で、ITチームはオンタイムで効率的にデータをデリバリーできるようなデータ統合ソリューションの設計や、以下のような問題を解決しようと取り組んできました。

- ・ 最新でタイムリーな情報取得によるビジネスインパクトは？
- ・ 増え続けるデータと縮小しつつあるバッチ処理枠の扱い方は？
- ・ コストカット及び効率的リソース活用の為、バッチ処理枠の削除はできるのか？
- ・ 夜間バッチの失敗によるリスクとビジネスインパクトは？

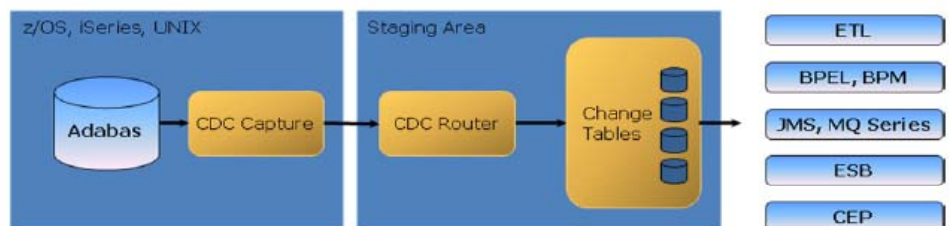
チェンジデータキャプチャ(CDC)は、企業内データソースの変更データのみを抽出し処理する仕組みを表します。**Attunity Stream for Adabas**はAdabasデータソースの変更データのみを抽出し処理する製品です。ETL、データ統合、EAI、またはユーザアプリケーションを拡張させ、以下を実現します。

利点

- ・ データレイテンシーの低減及び意思決定者へフレッシュデータの供給
- ・ データ移動の為にバッチ処理を削減または削除することよりシステムダウンタイム及び処理時間の削減
- ・ ETLに要するリソースの劇的削減
- ・ 市場におけるあらゆるETLツールとの互換性
- ・ non-intrusiveなCDCテクノロジーによりソースAdabasシステムへのあらゆるインパクトを回避

- ・ リアルタイムに、効率的なAdabasデータの抽出と提供
- ・ バッチ処理の削減または削除のためのAdabasデータの移動
- ・ リアルタイムビジネスインテリジェンス及びデータウェアハウスをサポート
- ・ 他のデータソースとAdabasデータの同期
- ・ イベントドリブン処理の及びビジネスイベントキャプチャの実現

Attunity Stream for Adabas



主な機能

- ・ ログベースのチェンジデータキャプチャ
- ・ チェンジデータフィルタリング機能
- ・ ETLとデータオリエンテッドアプリケーションに対するSQLベースでの変更をデリバリー
- ・ EAIまたはメッセージオリエンテッドアプリケーションに対するXMLベースでの変更をデリバリー
- ・ ウィザードベースのGUIにより、シンプルなインストレーションと迅速な定コンフィグレーションを実現
- ・ 信頼性の高いデリバリーとリカバリー
- ・ 容易な操作

サポートプラットフォーム

- ・ Mainframe z/OS
- ・ Solaris
- ・ AIX
- ・ HP UX
- ・ Windows
- ・ OpenVMS

■お問合せ先

株式会社

ハイ・アベイラビリティ・システムズ

ソリューション&

コンサルティング事業部

〒108-0023

東京都港区芝浦4-13-23

MS芝浦ビル

Tel 03-5730-8870

Fax 03-5730-8619

inquiry_desk@ha-sys.co.jp

<http://sc.ha-sys.co.jp>



Attunity Stream for Adabasコンポーネント

Adabas Change Data Capture Agent

The Attunity change capture agent for Adabasは、Adabasテーブルの変更点を識別及び抽出するソフトウェアコンポーネントです。このエージェントは、Adabas protection logs (pLogs) とのやりとりにより、変更データのみを抽出するnon-intrusiveアプローチを用いています。

Staging Area

CDC staging area は、変更されたデータを保管し、インテリジェントなフィルター及びサービス機能を提供する場を提供することによって、パフォーマンスや柔軟性、障害回復性を向上させます。staging areaはデータサーバからの処理をオフロードし、複数の変更データ利用者のサポートを容易にし、更に変更データのライフサイクルをより良く管理する仕組みを提供します。

CDC Consumer Interfaces

CDC Consumer Interfacesは、ETLやEAI及びユーザアプリケーションが変更されたデータを容易に扱うことができるような仕組みを提供するインターフェイスです。

標準的なAPIにより、アプリケーションはSQLを使用してデータを変更したり、XMLベースのメッセージを使用して変更データをlisten/waitすることができるようになります。

Attunity Studio

Attunity Studioは、CDC製品の定義及び管理を行うためのGUI製品です。グラフィカル且つウィザードベースで作られているため、Attunity Studioは、Adabas CDCのコンフィグやソリューションのデプロイなどプロダクション環境においても生産的な環境を提供します。

よくある質問(FAQ)

既存Adabasデータベースへの影響はどの程度ですか？

Attunity Streamは最小限のインパクトで実現できるよう設計されています。データベースに対し、トリガーやテーブルの追加などは必要ありません。それは別のプロセスとして実行され、Adabas pLogとだけ対話します。システムに与えるインパクトはテーブルログに関連する部分のみです。

“チェンジストリーミング”とはなんですか？

ストリーミングチェンジは小さな塊でデータやレコードを移動したり処理したりすることを意味します。チェンジストリーミングは、成功した処理や“変更の流れ”における現在の位置である、最後に変更されたレコードを識別する“ストリームポジション”のコンセプトで作られたものです。

障害に対する解決策はありますか？また障害復旧はどのように行われるのですか？

一台のマシンから他のマシンまでデータが移動された時に障害は時として起こりえます。CDCソリューションはストリームポジションをベースにした“チェックポイント”の管理により、あらゆる障害からのリカバリを可能としています。これは、システムがどんな障害からも回復し、最後に処理に成功したとされる個所から処理を再実行できる仕組みのことを意味しています。

Adabasメタデータもしくはノンリレーショナルデータ構造に対し、どのように対応していますか？

AttunityはPredictまたはDDM内の既存Adabasメタデータを取り入れる為に、Metadata Import Utilitiesを提供しています。更に、仮想テーブルまたは平坦化モデルの使用によって、リレーショナルメタデータモデルに対し、拡張性とノンリレーショナル構造(例えばAdabas PUやME)の自動マッピング機能を提供します。